

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	146	1年	後期	看護学科	必修	人体の構造・機能Ⅲ(共通) Human Anatomy and Physiology III	30	1
担当教員								
脇坂 浩之	山口 文徳							
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
○	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
○	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
医療従事者として、疾病の理解が正確にできるように、あるいは医師、薬剤師、理学療法士、介護福祉士などのスタッフと密な連携をとって行動できるようになるために人体の各分野の構造と機能についての知識を獲得し、医療に携わるうえで必須である正常な人体の構造と機能を解剖学的、生理学的に正確に説明できるようになる。 特にこの科目では、消化管の構造と機能、代謝、生殖器系の構造と機能、発生、内分泌器官の構造と機能、感覚器の構造と働きなどについて説明できるようになる。								
到達目標（授業目標）								
	① 消化管（口腔（歯、舌を含む）、咽頭、食道、胃、小腸、大腸）の基本構造と機能（消化、吸収、排泄）を説明できる。							
	② 肝臓、胆嚢、膵臓の基本構造と機能を説明できる。							
	③ 栄養とエネルギー代謝や主な物質代謝（糖質、脂質、タンパク質、ビタミン、ミネラル等）を概説できる。							
	④ 血糖の調節機構を説明できる。							
	⑤ 男性・女性の生殖器系の構造と機能を説明できる。							
	⑥ 性周期の調節機構と加齢に伴う変化、発生について説明できる。							
	⑦ 各内分泌系の構造と機能、調節機構を説明できる。							
	⑧ 主なホルモンの特徴と生理作用を説明できる。							
	⑨ 各感覚器の構造が説明できる。							
	⑩ 各感覚器の機能が説明できる。							
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	消化器の構造（1）食欲、エネルギー代謝、血糖、口腔、咽頭、喉頭の構造と機能について講義する。（山口文徳）							
2回	消化器の構造（2）胃の構造と働きについて講義する。（山口文徳）							

3回	消化器の構造（3）小腸、大腸、肝臓、膵臓の構造と働きについて講義する。（山口文徳）
4回	代謝（1）栄養と栄養素、糖、脂質、タンパク質代謝について講義する。（山口文徳）
5回	代謝（2）核酸代謝、ビタミン、微量元素について講義する。（山口文徳）
6回	生殖器の分布と構造、老化（1）遺伝と遺伝情報、女性の生殖器系の構造と機能について講義する。（山口文徳）
7回	生殖器の分布と構造、老化（2）男性の生殖器系の構造と機能について講義する。（山口文徳）
8回	生殖器の分布と構造、老化（3）受精と発生、老化について講義する。（山口文徳）
9回	内分泌器官の分布と機能（1）ホルモンの構造と機能、視床下部・下垂体、甲状腺ホルモンについて講義する。（山口文徳）
10回	内分泌器官の分布と機能（2）膵臓、副腎ホルモンについて講義する。（山口文徳）
11回	内分泌器官の分布と機能（3）消化管ホルモン、性ホルモン等について講義する。（山口文徳）
12回	感覚器の構造と機能（1）感覚器の分布と機能について講義する。（脇坂浩之）
13回	感覚器の構造と機能（2）視覚器の構造と機能について講義する。（脇坂浩之）
14回	感覚器の構造と機能（3）聴覚平衡覚器の構造と機能について講義する。（脇坂浩之）
15回	感覚器の構造と機能（4）味覚器嗅覚器その他の感覚器の構造と機能について講義する。（脇坂浩之）
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

成績は筆記試験で100%評価する。試験は100点満点とし合計60点以上を合格とする（脇坂担当分野30点、山口担当分野70点）。

教科書	下正宗ほか 「コアテキスト人体の構造と機能」（医学書院）
参考図書等	

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

テキストを用いた予習・復習（計1時間）が必須。

関連科目

前科目	144	人体の構造・機能Ⅰ	145	人体の構造・機能Ⅱ					
後科目	156	臨床病態学Ⅰ(共)	157	臨床病態学Ⅱ(共)					

実務家教員

医師（医療機関）	脇坂 浩之	山口 文徳					

備考

授業前中に配布するプリント等を活用して、授業内容を「記憶」しているのではなく、「理解」できていることが自覚できるように学習してください。疑問点はオフィスアワー（学生専用ページから曜日時間を確認してください。）を活用して質問しに来てください。